

明治安田生命「いい夫婦の日」に関するアンケート調査を実施！ 理想の有名人夫婦「三浦友和・山口百恵」夫妻がV12達成！

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、11月22日の「いい夫婦の日」にちなんで、夫婦をテーマとしたアンケート調査を実施しましたのでご報告します。

1. 夫婦の関係（詳細は4～14ページ参照）

■意外！？約8割の人が円満と回答！「生まれ変わっても、もう一度同じ相手と結婚したい」は夫婦間に大きな開きが！

- ・結婚までの交際期間は「1年以下」がトップ！約6割の夫婦が交際から「2年以下」に結婚！
- ・円満夫婦の平日の会話時間は平均「113分」。円満でない夫婦と約3倍の開き！
- ・約8割の妻が夫に不満あり！「気を利かせる」、「整理整頓」や「家事協力」など妻への気配り・協力が円満のカギ！
- ・家計の消費は増加傾向！？プレゼントの予算は2年連続の増加！リーマンショック以降の最高額に！

当社チーフエコノミスト小玉 祐一が分析！

- ・対面でのコミュニケーションが大切！配偶者から言われた一言は「ありがとう」がトップ！
- ・妻の半数以上が現在の夫に厳しい評価！「夫婦の会話時間」、「妻への気づかい」が評価ポイント！

2. 夫婦と働き方（詳細は15～18ページ参照）

■夫の年収は理想と現実で100万円以上のギャップあり！夫に稼いでほしい理想年収は「662.2万円」。

当社チーフエコノミスト小玉 祐一が分析！

- ・半数以上の夫が妻のキャリアアップを望んでいない！「女性の活躍推進」に対する意識は若い世代を中心に定着？

3. 理想の有名人夫婦（詳細は19～21ページ参照）

■理想の有名人夫婦は「三浦友和・山口百恵」夫妻がV12達成！

- ・2006年の調査開始以来、12年連続トップ「三浦友和・山口百恵」夫妻！
- ・2位は、昨年3位の「佐々木健介・北斗晶」夫妻。20代では堂々の1位！

対象者の属性

1. 調査対象

20～79歳の既婚男女

2. 調査エリア

全国

3. 調査期間

2017年10月10日(火)～10月16日(月)

4. 調査方法

インターネット調査

5. 有効回答者数

1,596人

6. 回答者の内訳

(単位：人)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
男性	133	132	134	135	132	133	799
女性	135	135	133	132	131	131	797
計	268	267	267	267	263	264	1,596

【 目 次 】

1. 夫婦の関係

(1) 夫婦の円満度と絆	．．．．．	4 ページ
(2) 結婚までの交際期間	．．．．．	6 ページ
(3) 夫婦の会話時間と円満度	．．．．．	7 ページ
(4) 夫婦間の不満	．．．．．	8 ページ
(5) 夫婦間のプレゼントと愛情	．．．．．	9 ページ
(6) 夫婦円満のために必要なこと	．．．．．	11 ページ
(7) 配偶者の評価	．．．．．	12 ページ

2. 夫婦と働き方

(1) 配偶者の理想の年収	．．．．．	15 ページ
(2) 妻の働き方	．．．．．	17 ページ

3. 理想の有名人夫婦 19 ページ

※本リリース内では以下のとおり記載

「円満である」と「まあ円満である」の合計 . . . 「円満である計」

「あまり円満でない」と「円満でない」の合計 . . . 「円満でない計」

「必ず結婚する」と「たぶん結婚する」の合計 . . . 「結婚する計」

「たぶん結婚しない」と「絶対に結婚しない」の合計 . . . 「結婚しない計」

「十分に愛情を感じている」と「まあ愛情を感じている」の合計 . . . 「愛情を感じている計」

「あまり愛情を感じていない」と「ほとんど愛情を感じていない」の合計 . . . 「愛情を感じていない計」

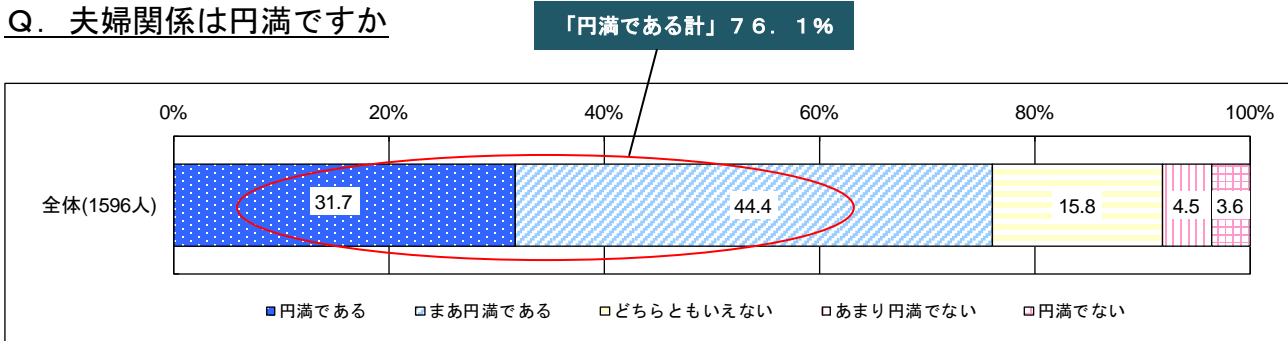
1. 夫婦の関係

(1) 夫婦の円満度と絆

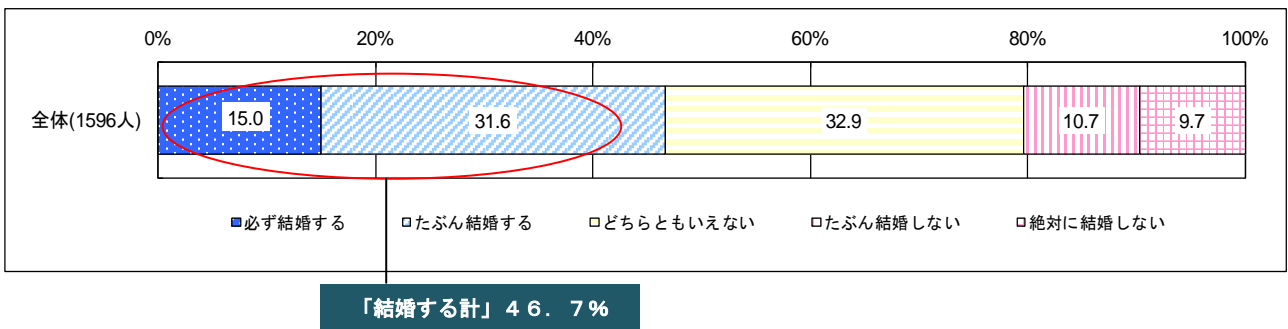
**意外！？約8割の人が円満と回答！
「生まれ変わっても、もう一度同じ相手と結婚したい」は夫婦間に大きな開きが！**

- 夫婦関係が円満かどうか聞いてみました。
- 「円満である計」と回答した人は76.1%と、実に約8割の人が円満と回答する結果となりました。
- ただし、生まれ変わっても、もう一度同じ相手と結婚したいかどうかを聞いてみると、「結婚する計」と回答した人は、全体で46.7%と、40%台にとどまっています。「円満である計」と回答した人でも、「結婚する計」と回答した人は58.2%と6割以下であり、少し寂しい結果となりました。
- 日々の生活では、不満の少ない“現実の夫婦関係”を受け入れることで「円満」と感じているものの、生まれ変わっても再び結婚したいと思うほどの“理想の夫婦関係”には達していない人が多いようです。“理想”と“現実”とには大きなギャップが存在しているということでしょうか。
- 「結婚する計」を年代別にみると、20代（64.6%）から50代（34.5%）にかけて低くなる一方、50代（34.5%）から70代（40.9%）にかけて反転してきます。年齢を重ねるにつれて徐々に気持ちが離れていきますが、50代を底に気持ちが戻ってくるのかもしれませんが。
- 「結婚する計」を夫・妻別でみると、夫が53.1%、妻が40.3%と、12.8ポイントの差があり、妻よりも夫の方が「夫婦の絆」を実感しているようです。

Q. 夫婦関係は円満ですか



Q. 生まれ変わっても、もう一度同じ相手と結婚したいですか



	回答者数 (人)	結婚する計		どちらともい えない	結婚しない		計	
		必ず結婚す る	たぶん結婚 する		たぶん結婚 しない	絶対に結婚 しない		
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
全体	1596	46.7	15.0	31.6	32.9	10.7	9.7	20.4
20代	268	64.6	29.9	34.7	20.5	9.3	5.6	14.9
30代	267	56.2	19.5	36.7	26.2	8.2	9.4	17.6
40代	267	45.7	12.0	33.7	31.1	10.5	12.7	23.2
50代	267	34.5	10.9	23.6	41.2	13.1	11.2	24.3
60代	263	38.0	9.1	28.9	38.8	12.9	10.3	23.2
70代	264	40.9	8.7	32.2	39.8	10.2	9.1	19.3
男性計	799	53.1	18.1	34.9	32.3	8.0	6.6	14.6
女性計	797	40.3	11.9	28.4	33.5	13.4	12.8	26.2
円満である計	1215	58.2	19.1	39.1	32.5	6.7	2.6	9.3
円満でない計	129	5.4	2.3	3.1	13.2	24.0	57.4	81.4

12.8ポイントの差

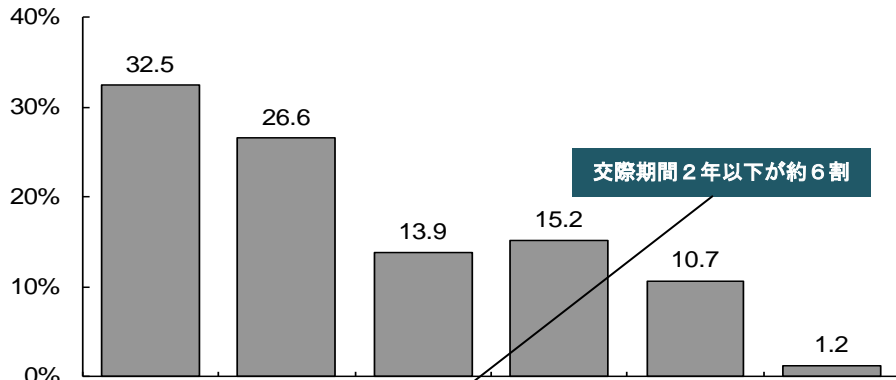
1. 夫婦の関係

(2) 結婚までの交際期間

**結婚までの交際期間は「1年以下」がトップ！
約6割の夫婦が交際から「2年以下」に結婚！**

- 結婚までの交際期間について聞いてみました。
- 結婚までの交際期間は、「1年以下」(32.5%)がトップ、「1年超～2年以下」(26.6%)が2位、「3年超～5年以下」(15.2%)が3位という結果になり、約6割の夫婦が交際から2年以内に結婚していることがわかりました。
- 年代別で比較すると、70代はお見合い結婚等「結婚前提の交際」が主流であったのか、「1年以下」と回答した人が45.8%と一番多く、平均年数も「2年0ヵ月」となりました。なお、「1年以下」と回答した20代は26.1%、30代は24.0%にとどまっており、平均年数は、20代「3年0ヵ月」、30代「3年1ヵ月」という結果になりました。晩婚化が進む昨今、なかなか結婚に踏み切れない若者の姿が目につかびます。
- 交際期間を円満度別でみると、交際期間と円満度に明確な傾向は見られませんでした。「スピード結婚」に対して躊躇する人もいるかもしれませんが、夫婦円満になるためには、交際期間よりも「夫婦としてどのように過ごすか」が大切なようです。

Q. 結婚までの交際期間は？ (複数回答)



	回答者数 (人)	1年以下 (%)	1年超～ 2年以下 (%)	2年超～ 3年以下 (%)	3年超～ 5年以下 (%)	5年超～ 10年以下 (%)	10年超～ (%)	平均(月: 0ヵ月含む)
全体	1596	32.5	26.6	13.9	15.2	10.7	1.2	2年8ヵ月
20代	268	26.1	24.3	13.1	21.3	13.1	2.2	3年0ヵ月
30代	267	24.0	25.5	14.6	20.2	14.6	1.1	3年1ヵ月
40代	267	30.3	26.6	11.6	16.1	15.0	0.4	3年0ヵ月
50代	267	33.0	28.5	14.6	12.0	10.5	1.5	2年8ヵ月
60代	263	35.7	29.3	15.6	12.5	6.1	0.8	2年3ヵ月
70代	264	45.8	25.8	14.0	8.7	4.5	1.1	2年0ヵ月
円満である計	1215	33.1	27.0	13.7	14.7	10.2	1.3	2年8ヵ月
円満でない計	129	27.1	29.5	20.2	14.7	8.5	-	2年5ヵ月

【交際期間と円満度の関係】

	回答者数 (人)	円満である計 (%)	円満でない計 (%)	どちらともいえない (%)
全体	1596	76.1	8.1	15.8
1年以下	518	77.6	6.8	15.6
1年超～2年以下	425	77.2	8.9	13.9
2年超～3年以下	222	74.8	11.7	13.5
3年超～5年以下	242	74.0	7.9	18.2
5年超～10年以下	170	72.9	6.5	20.6
10年超～	19	84.2	-	15.8

1. 夫婦の関係

(3) 夫婦の会話時間と円満度

**円満夫婦の平日の会話時間は平均「113分」。
円満でない夫婦は「40分」と、約3倍の開きが！**

- 仕事等で顔をあわせる時間が限られる20代～50代の平日と休日の会話時間を比較してみました。
- 平日の会話時間は、約6割の夫婦が「1時間以下」（56.7%）、休日の会話時間は、実に4割以上の夫婦が「3時間超」（44.2%）と答えています。会話時間の平均は、平日が「98分」、休日が「253分」という結果となりました。
- 夫婦の会話時間を円満度別でみると、平日の会話時間の平均は「円満である計」で「113分」、「円満でない計」で「40分」となりました。また、休日の会話時間は「円満である計」で「297分」、「円満でない計」で「101分」と、平日・休日ともに約3倍の差があり、円満夫婦ほど会話時間が長くなることがわかりました。
- 主な会話内容については、「子どものこと」（73.2%）、「テレビなどのニュース」（62.9%）、「仕事のこと」（54.6%）となりました。
- やはり、積極的なコミュニケーションが夫婦の愛情を育てていくようです。

Q. 平日の夫婦の会話時間はどれくらいですか（時間回答）※20代～50代調べ

	回答者数 (人)	平均(分:0分含む)	0分 (%)	1～30分 (%)	30分超～1時間 (%)	1時間超～2時間 (%)	2時間超～3時間 (%)	3時間超 (%)
全体	1069	98	4.0	23.5	29.2	21.4	12.6	9.3
円満である計	786	113	1.7	16.3	29.9	25.8	15.1	11.2
円満でない計	101	40	20.8	47.5	21.8	6.9	-	3.0

「1時間以下」56.7%

Q. 休日の夫婦の会話時間はどれくらいですか（時間回答）※20代～50代調べ

	回答者数 (人)	平均(分:0分含む)	0分 (%)	1～30分 (%)	30分超～1時間 (%)	1時間超～2時間 (%)	2時間超～3時間 (%)	3時間超 (%)
全体	1069	253	1.8	9.4	15.2	14.9	14.6	44.2
円満である計	786	297	0.1	4.2	10.8	14.5	16.8	53.6
円満でない計	101	101	11.9	34.7	22.8	12.9	4.0	13.9

Q. 主な会話内容は何ですか ※20代～50代調べ

	回答者数 (人)	子どものこと (%)	テレビなどのニュース (%)	仕事のこと (%)	休日の予定 (%)	夫婦のこと (%)	お金のこと (%)	親族のこと (%)	友人のこと (%)	その他 (%)
全体	1069	73.2	62.9	54.6	53.3	47.6	41.9	33.7	26.8	7.2
円満である計	786	73.4	69.7	59.8	61.1	56.4	42.7	38.8	31.9	7.0
円満でない計	101	66.3	31.7	31.7	30.7	18.8	48.5	14.9	8.9	14.9

1. 夫婦の関係
(4) 夫婦間の不満

約8割の妻が夫に不満あり！
「気を利かせる」、「整理整頓」や「家事協力」など妻への気配り・協力が円満のカギ！

- 夫婦間の不満について聞いてみました。
- 夫婦間の不満は、全体で「整理整頓ができない」(19.0%)がトップ、「気が利かない」(18.5%)が2位、「家事の協力をしない」(11.4%)が3位となりました。
- 夫婦別にみると、「特にない」と回答した夫は47.4%、妻が23.8%という結果でした。不満がない夫が約5割に対して、不満がない妻は約2割と、妻の約8割は夫に不満を感じていることがわかりました。
- 夫が妻へ持つ不満トップ3は、「整理整頓ができない」(17.0%)、「気が利かない」(12.0%)、「体型が変わってきたところ」(9.6%)でした。これに対して、妻が夫へ持つ不満トップ3は、「気が利かない」(25.1%)、「整理整頓ができない」(21.0%)、「家事の協力をしない」(19.3%)という結果でした。
- 夫婦間の不満を円満度別でみると、「円満でない計」では「気が利かない」、「家事の協力をしない」、「話を聞いてくれない」が上位となっています。相手の話に耳を傾け、気を利かせて家事の協力をするのが、夫婦円満の秘訣と言えそうです。

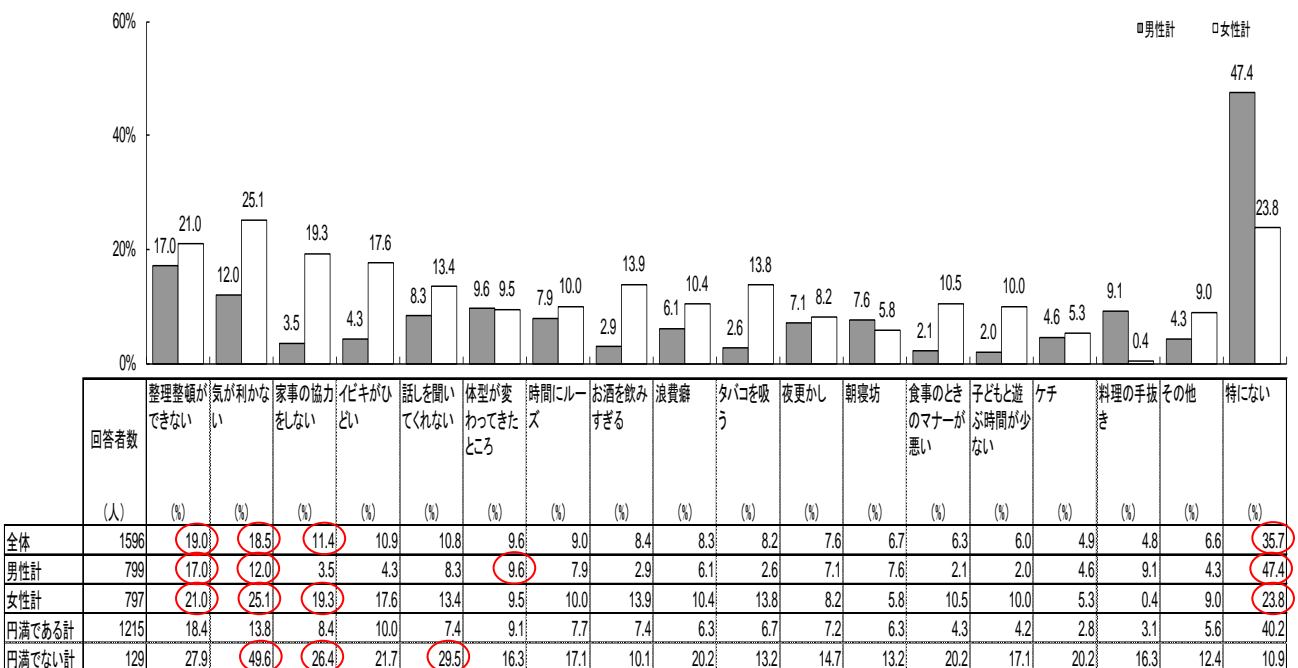
Q. 夫婦関係で不満なことは何ですか (複数回答)

【配偶者への不満ランキング】

夫から妻への不満	
順位	項目
1位	整理整頓ができない
2位	気が利かない
3位	体型が変わってきたところ
4位	料理の手抜き
5位	話を聞いてくれない

妻から夫への不満	
順位	項目
1位	気が利かない
2位	整理整頓ができない
3位	家事の協力をしない
4位	イビキがひどい
5位	お酒を飲みすぎる

Q. 夫婦関係で不満なことは何ですか (複数回答)



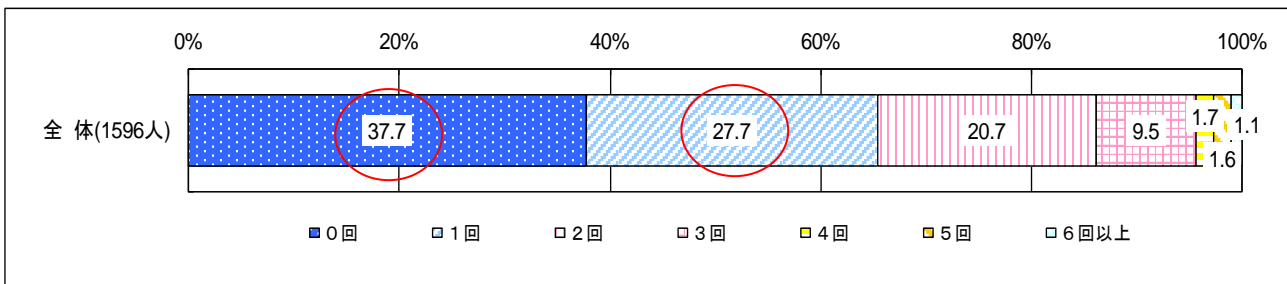
1. 夫婦の関係

(5) 夫婦間のプレゼントと愛情

家計の消費は増加傾向！？
プレゼントの予算は2年連続の増加！リーマンショック以降の最高額に！

- 夫婦の記念日やイベントの際に、プレゼントを贈る夫婦も多いと思います。そこで、年に何回プレゼントを贈るか、また、1回あたりのプレゼント予算はいくらかを聞いてみました。
- プレゼント回数は「0回」(37.7%)がトップ、「1回」(27.7%)が2位となり、平均回数は1.3回となりました。
- プレゼントと愛情の関係をみると、プレゼントを「1回以上」すると回答した夫婦は、「愛情を感じている計」が69.8%に対し、「愛情を感じていない計」は40.0%と、29.7ポイントの差がありました。夫婦の愛情は“かたち”にすると、伝わりやすいようです。
- プレゼントの平均金額は1回あたり「13,327円」と、2年連続で増加しました。2008年のリーマンショックに端を発した世界同時不況等により、プレゼントの平均金額は2009年に調査開始来過去最低を記録しましたが、景気回復や株価上昇等を背景に、消費者心理は改善傾向にあるようです。また、男女別でみると、夫は全ての年代でプレゼント代が増加するなど、その傾向が特に顕著になっています。
- 夫は、全ての世代で昨年よりプレゼント代が増加しています。賃金の伸び悩み等を背景に、個人消費は依然として力強さを欠いていますが、プレゼント代の増加には少し明るい兆しが表れているのかもしれませんが。

Q. 配偶者に年に何回プレゼントを贈りますか



【愛情度とプレゼント回数との関係】

	1回以上
愛情を感じている計	↑69.8
愛情を感じていない計	↓40.1

約29.7ポイントの差

【1回あたりのプレゼント予算の推移】※20代～50代調べ

男性の全世代で予算が増加

	2006年平均	2007年平均	2009年平均	2010年平均	2011年平均	2012年平均	2013年平均	2014年平均	2015年平均	2016年平均	2017年平均	前年差	
全体	12,248円	14,768円	10,281円	11,120円	10,919円	10,939円	10,984円	11,875円	11,850円	12,802円	13,327円	524円	全体
男性計	13,766円	16,880円	10,693円	12,355円	11,334円	10,982円	11,822円	12,698円	13,514円	13,525円	15,073円	1,548円	男性計
男性20代	13,363円	14,519円	11,872円	13,691円	13,425円	13,919円	12,983円	14,467円	15,411円	16,191円	17,214円	1,023円	男性20代
男性30代	15,621円	16,713円	11,014円	11,046円	9,394円	10,597円	11,642円	13,453円	13,890円	13,883円	16,449円	2,566円	男性30代
男性40代	13,886円	17,228円	9,247円	11,024円	9,683円	9,046円	9,675円	10,788円	12,576円	11,581円	13,035円	1,454円	男性40代
男性50代	11,843円	20,247円	10,264円	13,893円	12,381円	9,266円	12,535円	11,663円	11,327円	11,380円	12,694円	1,313円	男性50代
女性計	10,743円	12,701円	9,924円	9,932円	10,557円	10,898円	10,151円	11,036円	10,294円	11,963円	11,609円	-354円	女性計
女性20代	12,533円	11,859円	11,102円	12,240円	13,906円	12,584円	13,786円	14,142円	12,959円	13,791円	13,573円	-218円	女性20代
女性30代	9,022円	11,330円	9,719円	8,844円	10,072円	10,880円	9,349円	11,302円	9,706円	11,380円	13,192円	1,812円	女性30代
女性40代	9,787円	11,922円	8,729円	8,439円	7,885円	8,684円	8,093円	9,081円	8,532円	9,329円	9,464円	135円	女性40代
女性50代	11,205円	16,704円	9,785円	9,798円	8,565円	11,155円	8,043円	8,400円	9,120円	12,368円	9,207円	-3,160円	女性50代

※0円を含まない

～株価の回復が男性の資産価値に影響か～

■明治安田生命チーフエコノミスト 小玉 祐一



- プレゼント金額の伸びは、2014年以降、大きく拡大しており、この間の景気回復を反映している可能性が高いと言えます。もっとも、2017年は男性平均が1,548円の増加なのに対し、女性は逆に354円の減少となっています。2009年との比較でも、男性の3,046円増に対し、女性は1,685円増と倍近くの差がついています。夫婦間の愛情に差？とも見えてしまいますが、これは、株価の回復が特に男性の資産価値に影響を与えている可能性も考えてみる必要があります。
- プレゼント回数は0回が約4割というのも気になりますが、普段からしっかり愛情が確認できていれば、形式にこだわる必要はないと考えている夫婦が多いせいとも考えられます。

1. 夫婦の関係

(6) 夫婦円満のために必要なこと

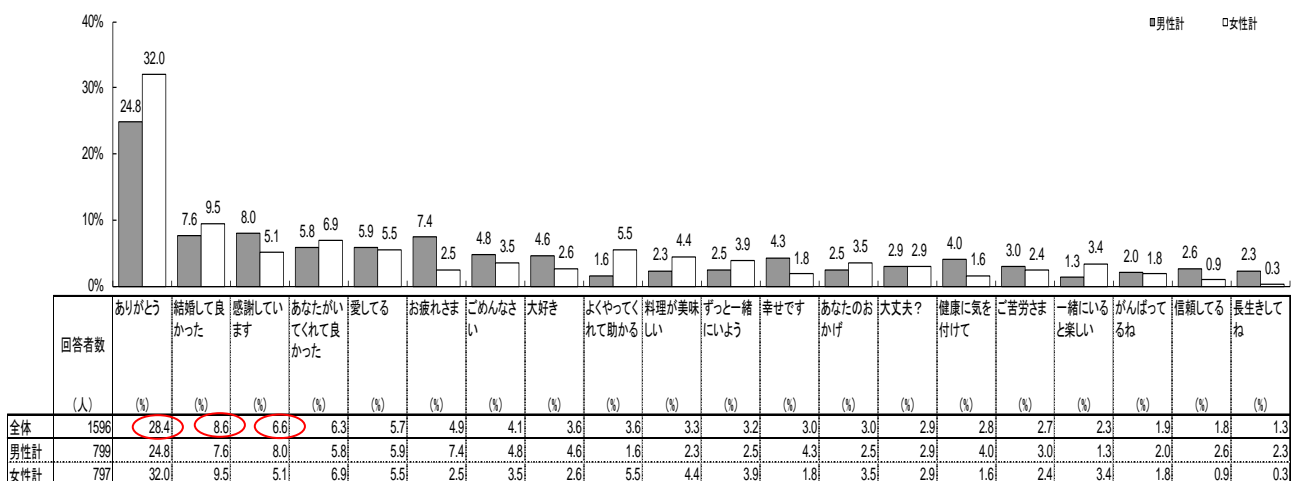
対面でのコミュニケーションが大切！
配偶者から言われた一言は「ありがとう」がトップ！

- 夫婦円満のために何が必要かを聞いてみました。
- 「よく会話をする」(70.1%)がトップ、2位が「感謝の気持ちを忘れない」(59.2%)、3位が「相手を尊重・信頼する」(57.9%)という結果になりました。メールやSNSの普及が著しい昨今でも会話でのコミュニケーションは重視されているようです。
- 年代別にみると、「育児に協力する」が20代で52.2%、30代で57.7%と、若い世代で特に高い結果となりました。「イクメン」が浸透してきている昨今、夫婦で支え合いながら育児していくことが重要なようです。
- 配偶者から言われた一言を聞いたところ、全体では「ありがとう」(28.4%)がトップ、2位が「結婚して良かった」(8.6%)、3位が「感謝しています」(6.6%)という結果になりました。
- 配偶者から言われた一言は、夫・妻ともに「ありがとう」となっています。対面でコミュニケーションをし、「ありがとう」としっかり感謝の気持ちを伝えることが夫婦円満の秘訣のようです。

Q. 夫婦円満のために何が必要ですか (複数回答)

回答者数	よく会話をする	感謝の気持ちを忘れない	相手を尊重・信頼する	家事に協力する	お互いの健康を気遣う	干渉しすぎない	一緒に食事に行く	相手をほめる	不倫・浮気をしない	自分から謝る・妥協する	育児に協力する	我慢・辛抱をする	スキンシップを大切に	結婚記念日・誕生日などにプレゼントをする	メールやライン(LINE)をする	共通の趣味を持つ	その他	特にな	
(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
全体	1596	70.1	59.2	57.9	51.5	44.6	38.4	37.3	36.5	28.4	28.3	28.0	25.7	25.6	21.4	18.2	16.8	1.3	4.8
20代	268	79.1	60.8	61.2	62.3	38.4	34.0	42.9	44.0	42.2	52.2	29.1	50.4	38.8	38.1	21.3	1.1	0.7	
30代	267	76.8	65.9	66.7	64.0	34.8	31.5	43.8	51.7	33.7	57.7	24.0	42.7	34.1	27.7	19.5	1.9	3.7	
40代	267	67.4	59.6	56.2	48.7	35.6	34.8	29.6	34.8	26.6	33.3	20.2	22.8	19.1	18.7	12.4	1.5	4.5	
50代	267	66.7	52.8	51.7	34.5	43.1	33.0	33.7	27.0	22.5	21.0	12.7	16.1	14.2	14.6	13.5	1.9	7.5	
60代	263	65.4	58.6	55.5	44.5	50.2	43.0	33.1	27.8	19.0	19.4	5.7	26.6	11.4	11.4	7.6	15.6	1.5	7.2
70代	264	65.2	57.6	56.1	54.9	65.9	54.5	40.5	33.7	26.1	22.3	5.7	35.6	9.8	10.2	2.3	18.6	-	5.3

Q. 配偶者から言われた一言は (単一回答)

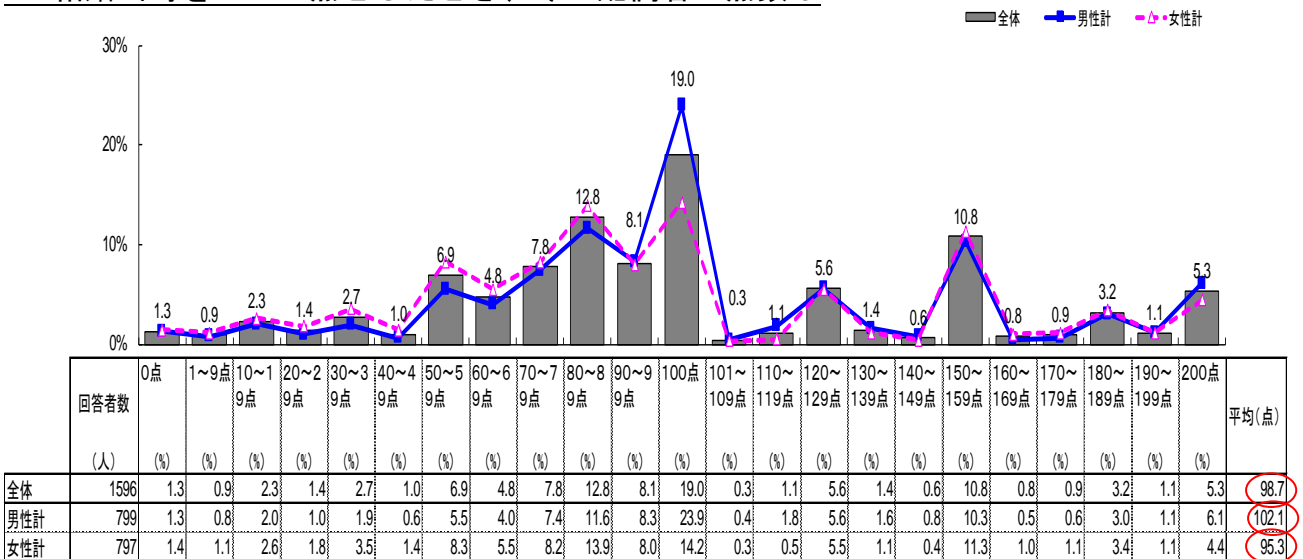


1. 夫婦の関係
 (7) 配偶者の評価

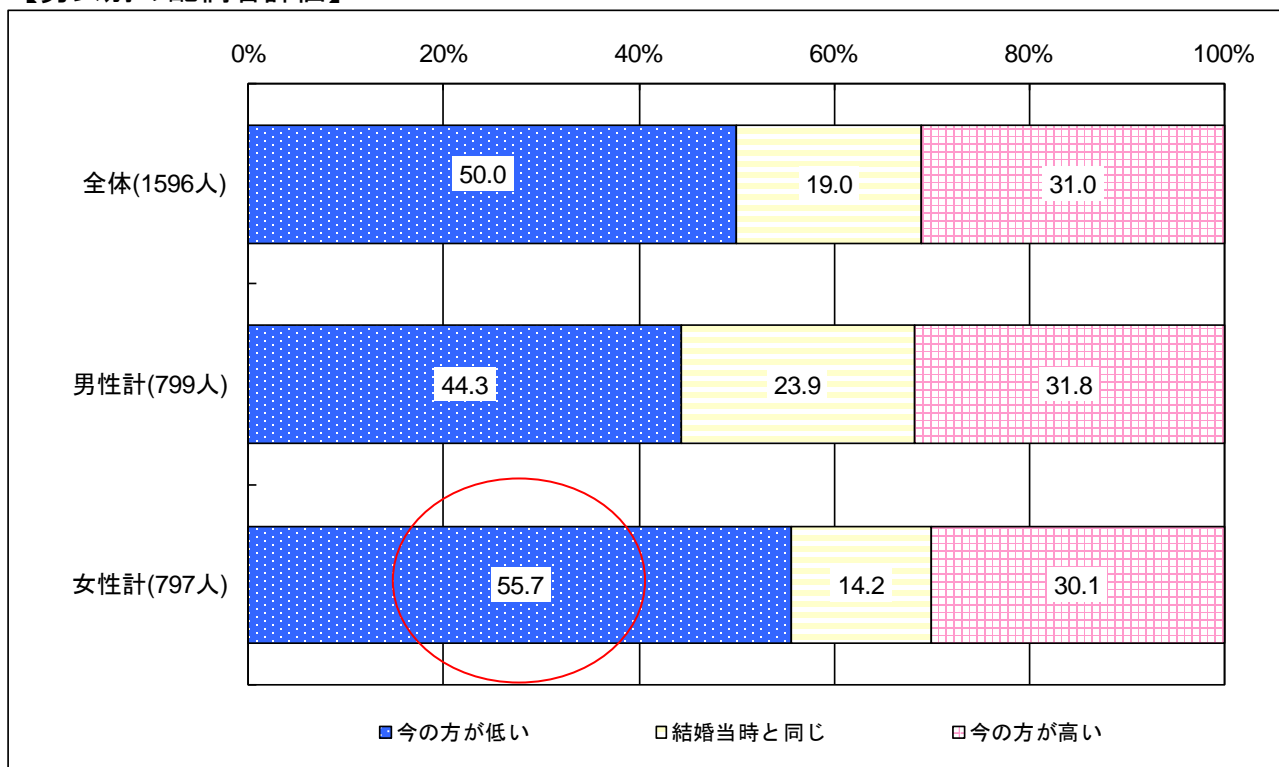
妻の半数以上が現在の夫に厳しい評価！！
「夫婦の会話時間」、「妻への気づかい」が評価ポイント！！

- 結婚当時の点数を100点とした場合の、現在の配偶者の点数を聞いてみました。
- 全体の平均点は「98.7点」となり、結婚当時とほぼ変わらない結果となりました。
- 男女別の平均点をみると、男性が「102.1点」、女性が「95.3点」となり、夫の方が、現在の妻を高評価しています。夫のことを「結婚当時より現在の方が点数が低い」とする妻は55.7%と半数以上にのぼっています。年齢別では、妻は年齢を重ねるごとに夫に対する評価が厳しくなっていることがわかります。
- 評価の理由についても聞いてみました。
- 評価が上がった理由は、全体で「自分のことを気づかってくれる」(24.0%)がトップ、「性格が変わらない」(16.8%)が2位、「家事を手伝ってくれる」(13.2%)が3位となりました。
- 年代別にみると、「一途である」と回答した20代は25.7%、30代で12.0%である一方、70代は1.1%と、若い世代は「一途な気持ち」が評価されるポイントのようです。
- 評価が下がった理由は、全体で「自分のことを気づかってくれない」(16.8%)がトップ、「夫婦の会話が減った」(15.4%)が2位、「性格が変わった」(11.3%)が3位となりました。
- 男女別にみると、妻による評価が下がった理由は「家事を手伝ってくれない」、「育児を手伝ってくれない」と回答した人が夫に比べ多くなりました。夫は家事・育児への参加が評価されるポイントのようです。夫による評価が下がった理由は「容姿が変わった」、「性格が変わった」が妻より高い結果になりました。夫は妻が結婚当時から見た目や性格などが「変わった」ところに注目しているようです。

Q. 結婚当時を100点としたとき、今の配偶者の点数は



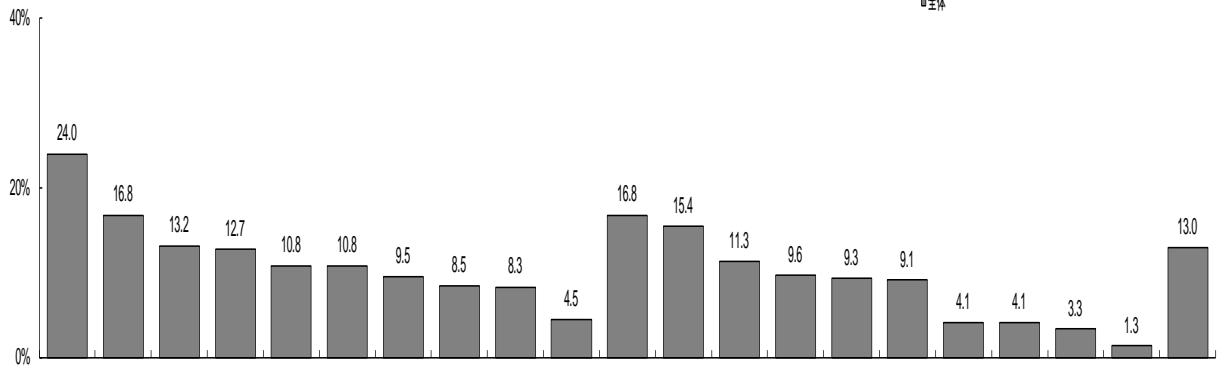
【男女別の配偶者評価】



【年代別の配偶者評価】

	今の方が低い (%)	結婚当時と同じ (%)	今の方が高い (%)
全体	50.0	19.0	31.0
男性計	44.3	23.9	31.8
男性20代	24.1	25.6	50.4
男性30代	38.6	22.7	38.6
男性40代	53.7	23.9	22.4
男性50代	50.4	31.9	17.8
男性60代	47.0	18.2	34.8
男性70代	51.9	21.1	27.1
女性計	55.7	14.2	30.1
女性20代	39.3	15.6	45.2
女性30代	53.3	16.3	30.4
女性40代	56.4	18.0	25.6
女性50代	57.6	14.4	28.0
女性60代	58.0	9.9	32.1
女性70代	70.2	10.7	19.1

Q. 評価の理由はなんですか



回答者数 (人)	評価が上がった理由										評価が下がった理由											
	自分のこと気づかってくれる (%)	性格が変わらない (%)	家事を手伝ってくれる (%)	自由に行動できる (%)	夫婦の会話が増えた (%)	お金の使い方がしっかりしている (%)	親族との関係が良好 (%)	途である (%)	育児を手伝ってくれる (%)	容姿が変わらない (%)	自分のこと気づかってくれない (%)	夫婦の会話が減った (%)	性格が変わった (%)	お金の使い方が大ざっぱ (%)	容姿が変わった (%)	家事を手伝ってくれない (%)	育児を手伝ってくれない (%)	親族との関係が悪い (%)	束縛が激しい (%)	浮気癖がある (%)	その他 (%)	
全体	1596	24.0	16.8	13.2	12.7	10.8	10.8	9.5	8.5	8.3	4.5	16.8	15.4	11.3	9.6	9.3	9.1	4.1	4.1	3.3	1.3	13.0
20代	268	28.0	27.2	27.2	12.7	20.1	17.9	17.5	25.7	23.9	9.0	9.0	9.0	7.8	9.3	7.5	10.8	10.1	4.1	5.2	1.9	10.4
30代	267	26.2	18.7	16.9	9.7	10.5	10.5	11.6	12.0	15.4	9.0	15.0	17.2	10.5	12.0	8.2	8.2	8.2	4.5	2.2	2.6	12.0
40代	267	18.4	12.4	10.1	10.9	5.2	9.7	7.5	4.9	6.0	1.5	23.2	20.2	13.9	10.5	12.4	12.7	4.1	6.4	1.5	1.1	13.9
50代	267	21.3	12.4	8.6	10.9	11.2	8.2	6.0	3.0	2.2	3.4	19.1	15.0	13.5	9.0	9.0	6.0	1.1	1.9	3.4	1.1	12.4
60代	263	25.5	18.6	7.6	16.7	8.7	9.9	4.6	4.2	0.8	1.5	16.3	13.7	11.0	9.1	9.5	8.7	0.8	4.6	3.4	0.8	10.6
70代	264	24.6	11.4	8.3	15.2	8.7	8.3	9.8	1.1	1.1	2.7	18.2	17.0	11.4	7.6	9.5	8.0	-	3.0	4.2	-	18.6
男性計	799	24.0	18.0	7.1	12.9	13.3	12.8	9.9	8.9	5.0	6.1	13.1	13.4	13.0	8.8	10.5	1.9	1.1	3.5	3.8	0.6	10.3
女性計	797	24.0	15.6	19.2	12.4	8.3	8.8	9.2	8.2	11.5	2.9	20.5	17.3	9.7	10.4	8.2	16.3	7.0	4.6	2.9	1.9	15.7

2. 夫婦と働き方

(1) 配偶者の理想の年収

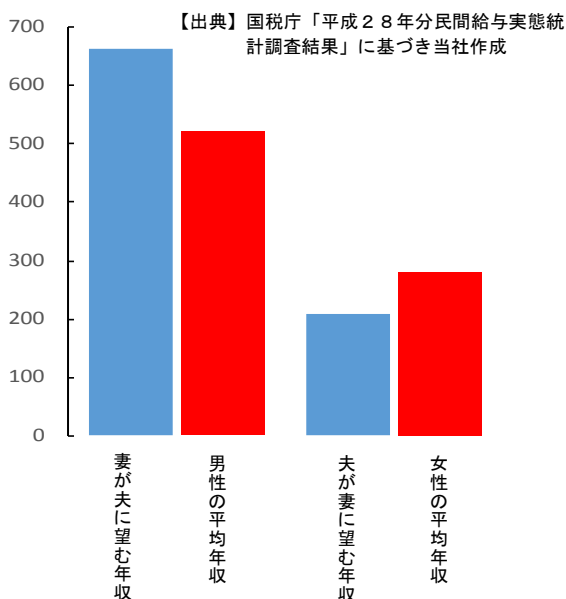
夫の年収は理想と現実で100万円以上のギャップあり！
夫に稼いでほしい理想年収は「662.2万円」！

- 20代～50代を対象に、配偶者の理想の年収について聞いてみました。
- 妻が夫に望む理想年収は「662.2万円」となりました。国税庁が公表している「平成28年分民間給与実態統計調査結果」によると、男性の平均年収は「521万円」であり、実に100万円以上の差がありました。夫の年収については、理想と現実のギャップが大きいようです。
- 夫が妻に望む理想年収は「209.5万円」となりました。「平成28年分民間給与実態統計調査結果」によると、女性の平均年収は「280万円」と、夫は妻に現実より多くの年収を望んでいない結果となりました。家計の担い手は夫、という意識はまだ根深いのでしょうか。
- 理想の年収を円満度別でみると、夫が妻に望む年収は「円満である計」と「円満でない計」に大きな差はない一方、妻が夫に望む年収は「円満である計」が「661.7万円」、「円満でない計」が「733.2万円」と約70万円の差がありました。円満でない夫婦の妻は、夫へ「愛」よりも「お金」を望んでいるのでしょうか。

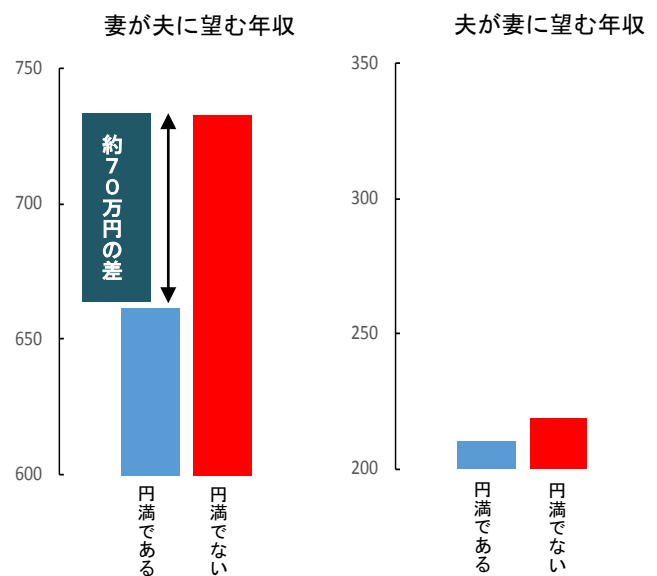
Q. 配偶者に求める年収はいくらですか

	回答者数 (人)	平均(万円:0円含む)	0円 (%)	0円超～100万円未満 (%)	100万円以上～200万円未満 (%)	200万円以上～300万円未満 (%)	300万円以上～400万円未満 (%)	400万円以上～500万円未満 (%)	500万円以上～600万円未満 (%)	600万円以上～700万円未満 (%)	700万円以上～800万円未満 (%)	800万円以上～900万円未満 (%)	900万円以上～1000万円未満 (%)	1000万円以上 (%)
全体	1069	436.0	9.0	4.9	14.3	7.3	10.0	7.4	15.2	9.5	6.0	6.6	1.3	8.4
男性計	534	209.5	17.6	9.0	27.9	12.9	14.0	5.2	7.7	2.4	0.7	0.6	-	1.9
女性計	535	662.2	0.4	0.7	0.7	1.7	6.0	9.5	22.8	16.6	11.2	12.7	2.6	15.0
円満である計	786	437.2	8.0	5.5	14.2	6.6	10.7	8.1	14.5	10.4	5.1	6.7	1.5	8.5
男性	391	210.4	15.9	10.2	27.9	11.8	15.6	6.1	7.4	2.6	0.8	0.3	-	1.5
女性	395	661.7	0.3	0.8	0.8	1.5	5.8	10.1	21.5	18.2	9.4	13.2	3.0	15.4
円満でない計	101	458.3	9.9	3.0	11.9	14.9	6.9	5.9	18.8	5.9	8.9	5.9	-	7.9
男性	54	219.1	18.5	5.6	22.2	24.1	9.3	3.7	11.1	1.9	1.9	-	-	1.9
女性	47	733.2	-	-	-	4.3	4.3	8.5	27.7	10.6	17.0	12.8	-	14.9

【年収の理想と現実の関係】



【理想年収と円満度の関係】



～非正規雇用の増加が理想と現実とのギャップ要因～



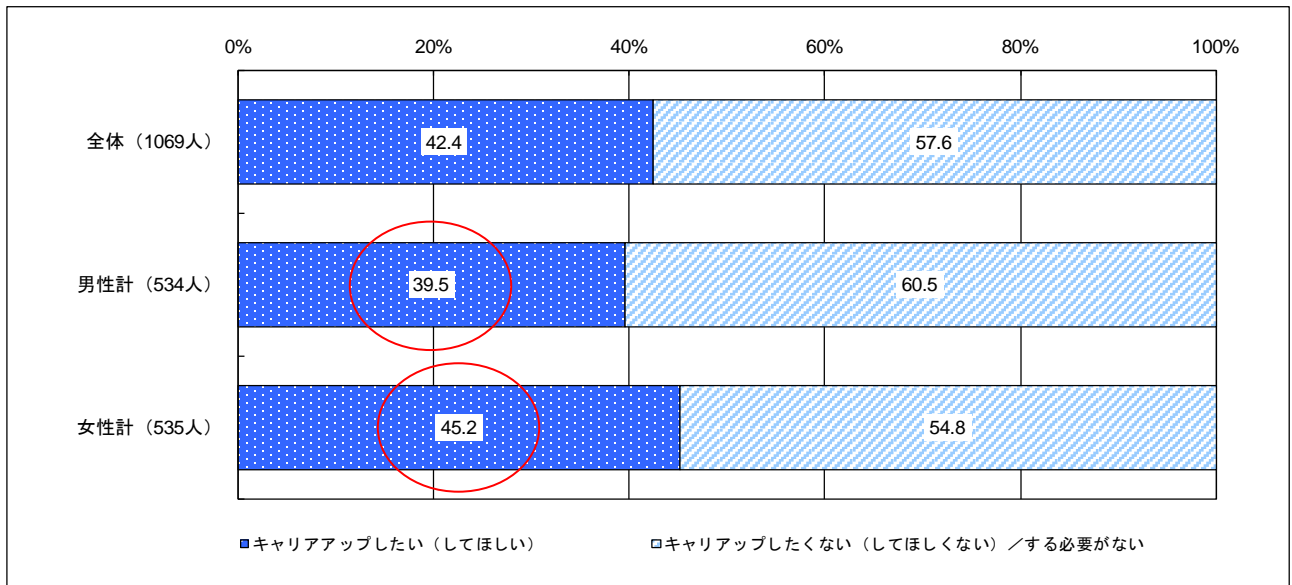
- 夫の年収に理想と現実で100万円以上のギャップがあるという結果は、世の男性にはショッキングかもしれません。ただ、日本では、バブル崩壊後、低成長の時代が長年に渡って続くなか、労働者に占める非正規雇用の割合が増え続け、足元では全体の約4割に達しています。こうしたなか、妻の理想の年収を満たすことのできない夫が増えていることが、理想と現実とのギャップに繋がっている可能性があります。これは夫婦共働き世帯の増加や、晩婚化の一因でもあります。
- なお、夫婦円満でない妻が夫に高い年収を望む傾向については、夫へ「愛」より「お金」を望む傾向を表しているとも言えますが、元々夫に高い年収を望む妻が、条件を満たせない夫に不満を募らせているという、逆の側面も考えられます。

2. 夫婦と働き方
 (2) 妻の働き方

半数以上の夫が妻のキャリアアップを望んでいない！！
「女性の活躍推進」に対する意識は若い世代を中心に定着？

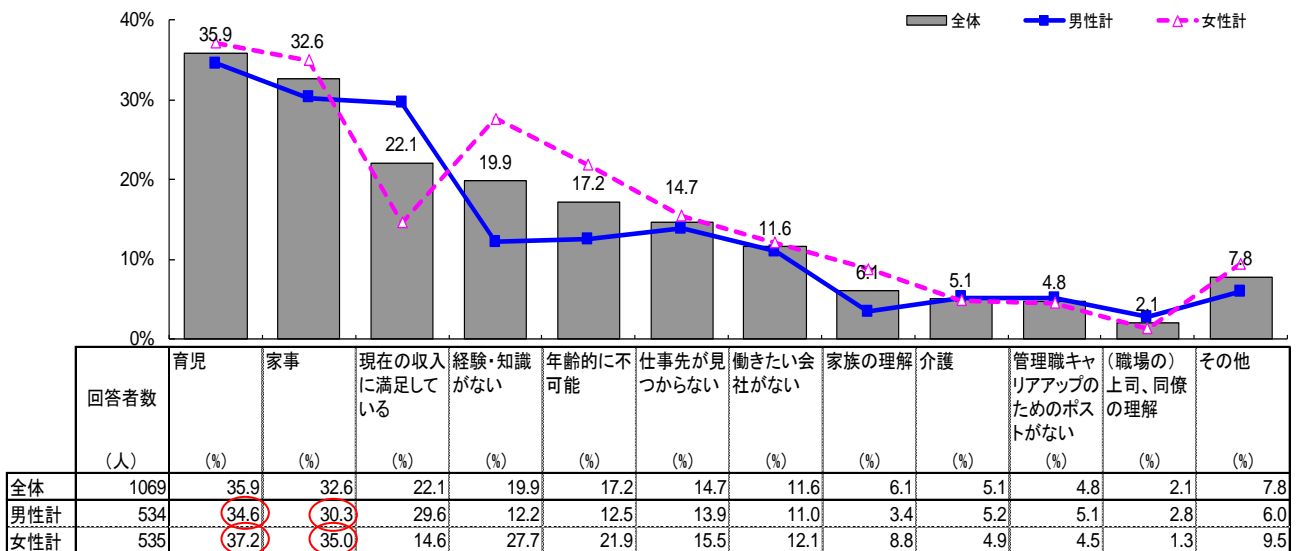
- 「女性の活躍推進」が求められるなか、20代～50代の夫婦に「キャリアアップ」について聞いてみました。
- 「妻にキャリアアップしてほしい」と思っている夫は全体で39.5%と、約4割の夫しか妻のキャリアアップを望んでいない結果となりました。また、「キャリアアップしたい」と思っている妻は全体で45.2%と、半数以上の方がキャリアアップに消極的という結果となりました。
- 年代別にみると、「妻にキャリアアップしてほしい」と思っている夫は20代で42.9%、30代で43.9%である一方、50代では31.9%と、若い世代の方が妻にキャリアアップを望んでいることがわかりました。妻も同様に、「キャリアアップしたい」と思っている20代は52.6%、30代で56.3%である一方、50代では27.3%と若い世代の方がキャリアアップ意欲に溢れていることがわかりました。「女性活躍推進」に対する意識はまだ定着しているとは言い難いですが、若い世代から徐々に定着してきていると言えそうです。
- 「妻のキャリアアップを阻害する要因」を聞いたところ、夫・妻ともに「育児」、「家事」が上位となっており、「仕事と家庭の両立」がキャリアアップのカギとなりそうです。
- 「女性のキャリアアップのために必要だと思うこと」を聞いてみました。夫・妻ともに「柔軟な勤務体系の整備」がトップとなりました。夫の2位は「女性自身のキャリアアップに対する意欲」、妻の2位は「家族の理解」という結果でした。
- 妻は「家族の理解」が必要と考えている一方、夫は「女性自身のキャリアアップ意欲」が必要と考えており、夫と妻で意識の差がみられました。

【妻のキャリアアップについて】

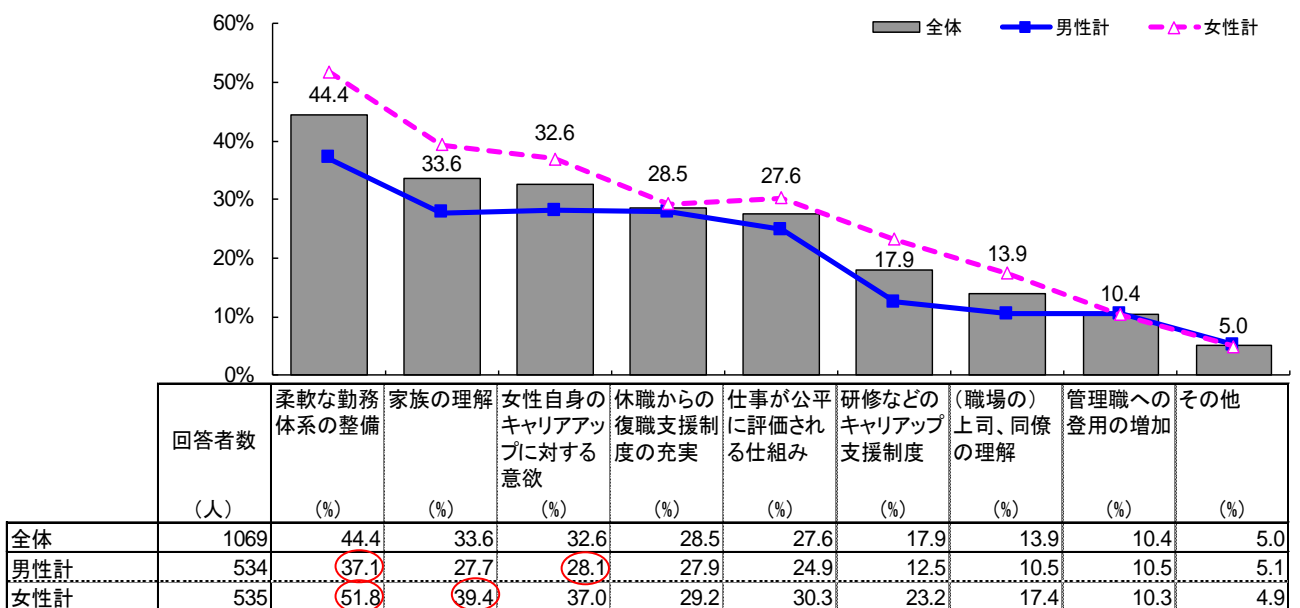


	回答者数 (人)	キャリアアップしたい (してほしい) (%)	キャリアアップしたくない (してほしくない) / する必要がない (%)
全体	1069	42.4	57.6
男性計	534	39.5	60.5
男性20代	133	42.9	57.1
男性30代	132	43.9	56.1
男性40代	134	39.6	60.4
男性50代	135	31.9	68.1
女性計	535	45.2	54.8
女性20代	135	52.6	47.4
女性30代	135	56.3	43.7
女性40代	133	44.4	55.6
女性50代	132	27.3	72.7

Q. (妻の) キャリアアップを阻害する要因は何ですか



Q. (妻の) キャリアアップのために必要だと思うことは何ですか



3. 理想の有名人夫婦

**理想の有名人夫婦は「三浦友和・山口百恵」夫妻がV12達成！
2位は、昨年3位の「佐々木健介・北斗晶」夫妻。20代では堂々の1位！**

- 最後に、毎年恒例の「理想とする有名人夫婦」を聞いてみました。
- 総合1位は、12年連続のトップであり、昨年より票を伸ばした「三浦友和・山口百恵」夫妻でした。選んだ理由に「自分たちの夫婦の形を持っているように見える」、「お互いの存在を認め合い、思いやっているように感じる」等のコメントが多く見られました。お二人の息子である三浦祐太郎さんと三浦貴大さんがテレビで活躍されていることも、お二人が昨年より票を伸ばした要因なのかもしれません。
- 2位は、昨年3位の「佐々木健介・北斗晶」夫妻。「お互いのことを大事にし合っているから」、「いつも仲良さそうだし、晶さんが闘病中に支えている姿が印象的」等のコメントが多く見られました。20代では堂々の1位、30代では2位と、若い世代から支持を得ているようです。
- 3位は、「ヒロミ・松本伊代」夫妻。4位は、「唐沢寿明・山口智子」夫妻。5位には、「田中将大・里田まい」夫妻となりました。
- 総合ランキングでは1位～4位までの顔ぶれは同じで、昨年6位の「田中将大・里田まい」が5位になる等、上位勢は根強い人気があるようです。今年結婚された「長友佑都・平愛梨」夫妻と「渡部建・佐々木希」夫妻が20代で8位になっていますが、来年以降、上位にランクインするためには、二人の幸せの時間を重ねて「夫婦の絆」を大切にしていけることが重要なようです。

Q. 理想の有名人夫婦は（単一回答） （敬称略・次頁以降同じ）

総合ランキング

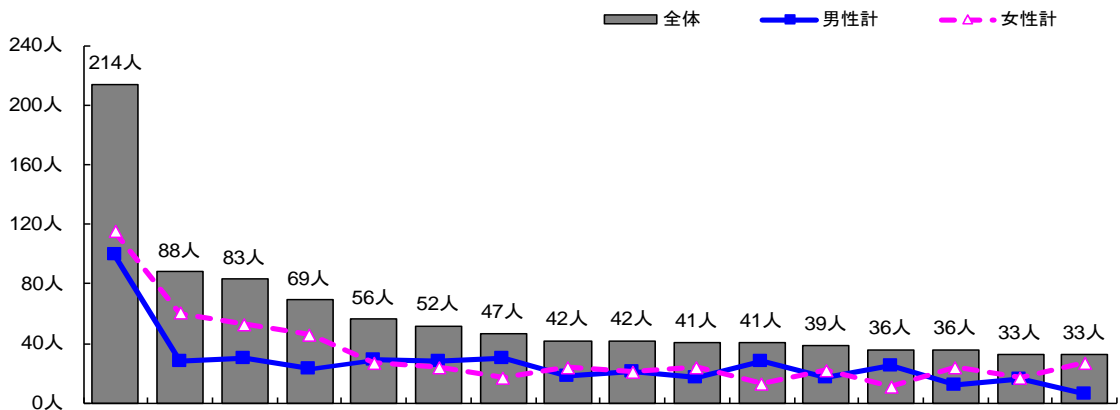
○全体

順位	理想の有名人夫婦	回答者数	昨年順位
1位	三浦友和・山口百恵	214人	(1位)
2位	佐々木健介・北斗晶	88人	(3位)
3位	ヒロミ・松本伊代	83人	(2位)
4位	唐沢寿明・山口智子	69人	(4位)
5位	田中将大・里田まい	56人	(6位)
6位	DAIGO・北川景子	52人	(5位)
7位	江口洋介・森高千里	47人	(12位)
8位	名倉潤・渡辺満里奈	42人	(12位)
8位	渡辺徹・榊原郁恵	42人	(14位)
10位	宇崎竜童・阿木燿子	41人	(7位)
10位	中尾彬・池波志乃	41人	(18位)

○ ベスト5夫婦の選ばれた理由

順位 (昨年順位)	理想の有名人夫婦	選んだ主な理由
1位 (1位)	三浦友和・山口百恵	・自分たちの夫婦の形を持っているように見える ・お互いの存在を認め合い、思いやっているように感じる
2位 (3位)	佐々木健介・北斗晶	・いつでもお互いのことを思いやっているように思う ・危機の度に必死で支えあっているように見える
3位 (2位)	ヒロミ・松本伊代	・欠点があっても責めずにサポートするところ ・子どもよりも、妻を一番大事にしているから
4位 (4位)	唐沢寿明・山口智子	・お互いを尊重して愛し合っているから ・ずっと仲良く楽しそうな雰囲気だから
5位 (6位)	田中将大・里田まい	・お互い良い刺激を受けているから ・夫の仕事を妻が理解し、サポートしている感じがするから

【年代別総合ランキング】



回答者数 (人)	三浦友和・山口百恵 (人)	佐々木健介・北斗晶 (人)	ヒロミ・松本伊代 (人)	唐沢寿明・山口智子 (人)	田中将大・里田まい (人)	DAIGO・北川景子 (人)	江口洋介・森高千里 (人)	名倉潤・渡辺満里奈 (人)	渡辺徹・榎原郁恵 (人)	宇崎竜童・阿木燿子 (人)	中尾彬・池波志乃 (人)	山下達郎・竹内まりや (人)	桑田佳祐・原由子 (人)	東出昌大・杏 (人)	鈴木おさむ・大島美幸 (人)	藤本敏史・木下優樹菜 (人)	
全体順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	8位	10位	10位	12位	13位	13位	15位	15位	
全体	1596	214	88	83	69	56	52	47	42	42	41	41	39	36	36	33	33
20代計	268	9	28	22	8	19	20	6	13	2	1	7	-	5	7	5	18
30代計	267	11	20	18	24	12	14	11	9	2	-	4	6	4	9	13	11
40代計	267	27	14	16	17	12	8	20	9	8	1	4	13	8	3	9	1
50代計	267	67	7	14	11	2	5	5	5	14	8	8	11	10	6	3	2
60代計	263	53	7	8	6	6	2	3	4	9	14	10	6	5	6	3	-
70代計	264	47	12	5	3	5	3	2	2	7	17	8	3	4	5	-	1
男性計	799	99	28	30	23	29	28	30	18	21	17	28	17	25	12	16	6
男性20代	133	3	12	8	2	11	8	6	3	1	1	3	-	3	2	3	3
男性30代	132	5	4	6	7	7	8	7	6	1	-	2	3	3	6	7	1
男性40代	134	13	-	6	6	4	4	12	3	6	-	4	6	6	-	4	-
男性50代	135	30	2	4	6	2	4	3	4	7	7	7	4	6	-	1	1
男性60代	132	26	3	4	-	3	2	1	1	2	5	6	3	4	3	1	-
男性70代	133	22	7	2	2	2	2	1	1	4	4	6	1	3	1	-	1
女性計	797	115	60	53	46	27	24	17	24	21	24	13	22	11	24	17	27
女性20代	135	6	16	14	6	8	12	-	10	1	-	4	-	2	5	2	15
女性30代	135	6	16	12	17	5	6	4	3	1	-	2	3	1	3	6	10
女性40代	133	14	14	10	11	8	4	8	6	2	1	-	7	2	3	5	1
女性50代	132	37	5	10	5	-	1	2	1	7	1	1	7	4	6	2	1
女性60代	131	27	4	4	6	3	-	2	3	7	9	4	3	1	3	2	-
女性70代	131	25	5	3	1	3	1	1	1	3	13	2	2	1	4	-	-

※ベスト3は白抜き

男女別ランキング

○男性

順位	理想の有名人夫婦	回答者数	昨年順位
1位	三浦友和・山口百恵	99人	(1位)
2位	ヒロミ・松本伊代	30人	(2位)
2位	江口洋介・森高千里	30人	(5位)
4位	田中将大・里田まい	29人	(3位)
5位	佐々木健介・北斗晶	28人	(4位)
5位	DAIGO・北川景子	28人	(5位)
5位	中尾彬・池波志乃	28人	(7位)
8位	桑田佳祐・原由子	25人	(9位)
9位	唐沢寿明・山口智子	23人	(12位)
10位	イチロー・福島(鈴木)弓子	22人	(17位)

○女性

順位	理想の有名人夫婦	回答者数	昨年順位
1位	三浦友和・山口百恵	115人	(1位)
2位	佐々木健介・北斗晶	60人	(4位)
3位	ヒロミ・松本伊代	53人	(2位)
4位	唐沢寿明・山口智子	46人	(3位)
5位	田中将大・里田まい	27人	(9位)
5位	藤本敏史・木下優樹菜	27人	(7位)
7位	DAIGO・北川景子	24人	(6位)
7位	名倉潤・渡辺満里奈	24人	(10位)
7位	宇崎竜童・阿木燿子	24人	(5位)
7位	東出昌大・杏	24人	(16位)

年代別ランキング

○20代

順位	理想の有名人夫婦	回答者数	昨年順位
1位	佐々木健介・北斗晶	28人	(4位)
2位	ヒロミ・松本伊代	22人	(7位)
3位	DAIGO・北川景子	20人	(1位)
4位	田中将大・里田まい	19人	(3位)
5位	藤本敏史・木下優樹菜	18人	(2位)
6位	名倉潤・渡辺満里奈	13人	(5位)
7位	三浦友和・山口百恵	9人	(12位)
8位	唐沢寿明・山口智子	8人	(7位)
8位	長友佑都・平愛梨	8人	-
8位	渡部建・佐々木希	8人	-

○30代

順位	理想の有名人夫婦	回答者数	昨年順位
1位	唐沢寿明・山口智子	24人	(3位)
2位	佐々木健介・北斗晶	20人	(5位)
3位	ヒロミ・松本伊代	18人	(1位)
4位	DAIGO・北川景子	14人	(3位)
5位	鈴木おさむ・大島美幸	13人	(23位)
6位	田中将大・里田まい	12人	(2位)
6位	木梨憲武・安田成美	12人	(9位)
8位	藤本敏史・木下優樹菜	11人	(12位)
8位	三浦友和・山口百恵	11人	(8位)
8位	江口洋介・森高千里	11人	(6位)

○40代

順位	理想の有名人夫婦	回答者数	昨年順位
1位	三浦友和・山口百恵	27人	(2位)
2位	江口洋介・森高千里	20人	(10位)
3位	唐沢寿明・山口智子	17人	(4位)
4位	ヒロミ・松本伊代	16人	(1位)
5位	佐々木健介・北斗晶	14人	(3位)
6位	山下達郎・竹内まりや	13人	(14位)
7位	田中将大・里田まい	12人	(8位)
8位	木梨憲武・安田成美	11人	(8位)
9位	鈴木おさむ・大島美幸	9人	(14位)
9位	名倉潤・渡辺満里奈	9人	(12位)

○50代

順位	理想の有名人夫婦	回答者数	昨年順位
1位	三浦友和・山口百恵	67人	(1位)
2位	ヒロミ・松本伊代	14人	(3位)
2位	渡辺徹・榎原郁恵	14人	(7位)
4位	唐沢寿明・山口智子	11人	(4位)
4位	山下達郎・竹内まりや	11人	(2位)
6位	桑田佳祐・原由子	10人	(5位)
7位	イチロー・福島(鈴木)弓子	9人	(15位)
8位	中尾彬・池波志乃	8人	(23位)
8位	宇崎竜童・阿木燿子	8人	(9位)
10位	佐々木健介・北斗晶	7人	(10位)
10位	大和田獏・岡江久美子	7人	(13位)
10位	中村雅俊・五十嵐淳子	7人	(6位)

○60代

順位	理想の有名人夫婦	回答者数	昨年順位
1位	三浦友和・山口百恵	53人	(1位)
2位	宇崎竜童・阿木燿子	14人	(2位)
3位	中尾彬・池波志乃	10人	(4位)
3位	大和田獏・岡江久美子	10人	(11位)
5位	渡辺徹・榎原郁恵	9人	(7位)
6位	ヒロミ・松本伊代	8人	(6位)
6位	宮川大助・宮川花子	8人	(16位)
8位	佐々木健介・北斗晶	7人	(9位)
8位	高島忠夫・寿美花代	7人	(14位)
10位	唐沢寿明・山口智子	6人	(11位)
10位	山下達郎・竹内まりや	6人	(7位)
10位	中村雅俊・五十嵐淳子	6人	(9位)
10位	東出昌大・杏	6人	(25位)
10位	田中将大・里田まい	6人	(25位)

○70代

順位	理想の有名人夫婦	回答者数	昨年順位
1位	三浦友和・山口百恵	47人	(1位)
2位	宇崎竜童・阿木燿子	17人	(3位)
3位	高島忠夫・寿美花代	15人	(2位)
4位	宮川大助・宮川花子	12人	(5位)
4位	佐々木健介・北斗晶	12人	(8位)
6位	中尾彬・池波志乃	8人	(9位)
7位	渡辺徹・榎原郁恵	7人	(4位)
7位	中村雅俊・五十嵐淳子	7人	(11位)
9位	大和田獏・岡江久美子	6人	(7位)
9位	水谷豊・伊藤蘭	6人	(13位)
11位	ヒロミ・松本伊代	5人	(5位)
11位	東出昌大・杏	5人	(24位)
11位	田中将大・里田まい	5人	(13位)
11位	イチロー・福島(鈴木)弓子	5人	(9位)